

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2006-280820(P2006-280820A)
 【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)
 【年通号数】公開・登録公報2006-041
 【出願番号】特願2005-108117(P2005-108117)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/48 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 5/05 3 7 0

A 6 1 B 5/05 3 9 0

G 0 1 N 24/08 5 2 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁場中に被検体を配置し、この被検体に高周波磁場を印加し、それによって発生する核磁気共鳴信号に基づいて前記被検体を撮像する磁気共鳴撮像装置であって、相互に関連する複数の撮像パラメータの値を入力する入力手段と、前記複数の撮像パラメータの値の設定可能範囲を演算する演算手段と、前記複数の撮像パラメータの少なくとも一つに係る情報を表示する表示手段とを備えた磁気共鳴撮像装置において、

前記演算手段は、入力された前記撮像パラメータの入力値による撮像が不可能な場合に、該入力値を維持するための変更可能な他の撮像パラメータとその値の候補を演算し、

前記表示手段は、前記他の撮像パラメータとその値の候補を表示することを特徴とする磁気共鳴撮像装置。

【請求項2】

請求項1記載の磁気共鳴撮像装置において、

前記演算手段は、前記他の撮像パラメータをその候補値に変更した場合の画質の変化量を演算し、

前記表示手段は、前記画質の変化量も合わせて表示することを特徴とする磁気共鳴撮像装置。

【請求項3】

請求項2記載の磁気共鳴撮像装置において、

前記画質の変化量は、S/NとCNRと分解能の内の少なくとも一つの変化量を含むことを特徴とする磁気共鳴撮像装置。

【請求項4】

請求項1記載の磁気共鳴撮像装置において、

前記演算手段は、前記他の撮像パラメータをその候補値に変更した場合のSARとdB/dtの内の少なくとも一方を演算し、

前記表示手段は、前記SARとdB/dtの内の少なくとも一方の値も合わせて表示することを特徴とする磁気共鳴撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明のMRI装置は以下のように構成される。即ち、
磁場中に被検体を配置し、この被検体に高周波磁場を印加し、それによって発生する核磁気共鳴信号に基づいて前記被検体を撮像し、相互に関連する複数の撮像パラメータの値を入力する入力手段と、前記複数の撮像パラメータの値の設定可能範囲を演算する演算手段と、前記複数の撮像パラメータの少なくとも一つに係る情報を表示する表示手段とを備え、前記演算手段は、入力された前記撮像パラメータの入力値による撮像が不可能な場合に、該入力値を維持するための変更可能な他の撮像パラメータとその値の候補を演算し、前記表示手段は、前記他の撮像パラメータとその値の候補を表示する。